



福岡県小郡市大板井1143-1
 電話番号 0942-72-7221
 FAX 0942-72-7222



発行人

こぐま福祉会
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



新年度を迎えて

温かい穏やかな天気が続き、園庭の桜の花も、始園式までそのはなやかさを維持してくれ、気持ちのいい新年度のスタートとなりました。

当福祉会は創立37年目を迎えました。療育から生活介護、就労支援までの多岐にわたる事業の重要性は近隣自治体だけでなく、外部セミナー開催などの活動を通して全国から評価されています。本年1月から春日市のクローバープラザで活動を開始した福岡県からの受託事業、「福岡県発達障がい者(児)支援センター(福岡地域)Life」の業務も新年度を迎え本格的に動き始めました。

職員一同、皆様からのご期待に添えるように、さらに研修・研鑽を積み、より良いご支援ができるように自問自答しながらスキルアップを図って参ります。

新人職員も一日も早く職場に慣れ、皆様に信頼して頂ける職員を目指して頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務長 入江 和隆)





児童発達センター ゆう
翔伍くん

嬉しい時、楽しい時の表現は連続ジャンプ。好きなものは音楽と絵本。今のブームは数を数える事。いつもかけ足で毎日が全力の翔伍は4月で6歳になりました。「ゆう」へ通園させていただき4年目になります。

少し小さめに生まれた翔伍は、成長の過程が全て遅く、1歳半健診で大学病院を紹介され、色々な検査をしました。同時に大野城市のいちご学級へ行き始めたのが、こぐまとの出会いです。検査結果が出たのは約1年後、みつばちグループへ通い出してからでした。難病指定された病名に戸惑いもありましたが、原因が分かりスッキリした気持ち大きかったです。翔伍は話すことが出来ません。しばらくはクレールン現象ばかりで、喃語や指差しもありませんでした。意思疎通ができないもどかしさから親子で涙を流すこともありました。ある時、お友達から「どうして喋らないの？」と質問され、どう答えればいいのか困っていると、ひとりの先生が「喋れなくて

も沢山教えてくれる事はあるんだよ」と代わりに答えてくれました。その言葉で私は、話すという事にこだわりすぎていたことに気付かされました。これを機に、翔伍としつかり向き合うことが出来始めたいと思います。伝える事が苦手だった翔伍は徐々にですが、サインや指差しで教えてくれたり、気持ちを体で表現するようになりました。最近は理解力も伸び、気持ちも共有する事が増えたと思います。日常動作もゆっくりですが、先生方のお陰で一つずつやる意識が芽生えてきました。お友達の名前を覚えたり、お手伝いをする楽しさも知りました。昨年誕生した弟への愛情も深まり、とても可愛がっています。

毎日何をして過ごせばよいのかと悩んでいた頃を思うと、苦手な運動を頑張って通園して良かったなと思います。辛い時もありましたが、悩みを相談し笑い合えるお母様方、いつも温かく寄り添って下さる先生方、毎日元気をくれるお友達、そして幸せ一杯な翔伍の笑顔、その全てが私を支えてくれました。ご縁あって出会えた皆様

多動の為他人に迷惑を掛ける事も多いですが、ゆっくり一歩ずつ成長していくと思います。親子共々宜しくお願い致します。最後の1年、楽しい思い出を作りたいと思います。
(翔伍の母)

こぐまLINE



車両管理・営繕
藤山

皆様こんにちは、車両管理・営繕を担当しています藤山と申します。皆様とは直接的に接する機会がなく知らない方が多いと思いますので、この場をお借りして私のことを自己紹介させていただきます。

私の出身地は、宮崎県日南市で九州の小京都と称される飫肥(おび)や風光明媚な日南海岸などを抱える歴史と自然あふれる観光の街で、のびのびと高校まで育ちました。

高校卒業後は、陸上自衛隊に入隊し、司令部勤務で命令・指示・企画・カウンセラーその他に自衛隊にある学校の教官等に勤務し、更に、自衛隊の中では、若い時には、自衛隊の中でも最も過酷なレンジャー教育を受けました。そこで勤務した小郡駐屯地のことを説明しますと、施設科部隊で、建物・道路・橋・トンネル等を造っていました。また、報道でもよく見る災害が起きたら派遣される所でもありました。春は桜並木、駐屯地記念行事等で駐屯地開放していますので、是非、自衛隊の活動を見学しに来てください。自衛官時代の趣味は、ゴルフ、スポーツ全般、十割のそば打ちをやります。また、東野小学校のPTA会

長もやりました。

自衛隊定年後は、縁があつて、「こぐま福祉会」に再就職しました。福祉会での仕事は、最初にお話しています。車両管理では、送迎を行い、利用者さんが安全に通園できるように安全運転に心掛けています。また営繕では、物が壊れ無いように怪我をしないように心掛けています。何かお気付きのこと等ございましたら遠慮なくお声掛けください。

今凝っている趣味が、家庭菜園、アレンジメントフラワー、小郡散策(見かけたらお声をかけて下さい)、若い仲間たちとフェイスブックでのやり取り、小郡のイベント、美味しいお店や風景等を配信していますので【ゆるり小郡】検索して下さい。(いいね)をしていただけたら嬉しいです。

その他に霧島会(霧島酒造を嗜む会)、小郡市青少年育成会議指導員、自衛隊募集相談員、小郡警察署少年補導員やPTAのOBで「げんき会」を結成して、子供達のために何かできないかと頑張っています。その中でも特に人との出合いを大切にしています。

今後も、皆さんがこぐま学園で安全に楽しく療育できるように一杯のお手伝いをさせていただきます。これからもよろしくお願ひします。

お祝い会

3月28日(水)に「就学お祝い会」が行われました。今年はいはぐ・しろくま・ゆう「合わせて14名のお子様、またひとつ新しい一歩を踏み出しました。就学されたお子様方、ご家族の皆様、おめでとうございませう。

当日の会場の雰囲気や、お祝いの為に集まって頂いたたくさんの方の前に、ドキドキしながらも堂々と入場。初めてこぐま学園に来た頃から逞しく成長した姿を見せてくれました。そして、園長よりひとりずつ療育証書を手渡されました。保護者の方は、お子様が生まれてから今日までの思い、そしてこれからの思いに涙されながらも話して下さり、年中・年少のお友だちや保護者様へのエールのようでした。

それぞれ学校生活が始まっていることと思います。学校には、ドキドキわくわくが沢山詰まっています。新しい経験をしながら、自分らしさを大切に毎日を通してほしいと思います。スタッフ一同、ずっと応援しています。(保育士 稲永)

おめでとう



事業紹介

【児童発達支援センターゆう】

就学前のお子様を対象に、年齢や目的に合わせて集団療育を行っています。みつばち・ばった・とんぼ・かぶとむし・くわがたの5グループがあります。

園庭を思いきり走ったり、トランポリンを跳んだり、身体を動かすことが大好きな元気いっぱいのお友だちです。

最初は保護者の方と同伴通園を行います。様々なことを一緒に経験していきます。安心した環境の中で少しずつ自信をつけ、段階を追って単独通園へと移行していきます。年齢と共にもだんだんたくましくなっていく子ども達を見て、私たちも感動させてもらうことがたくさんあります。

今年度も子ども達や保護者の方の笑顔がたくさんみられるよう楽しい活動を行っていききたいと思っております。(保育士 大倉)



【児童発達支援センターはぐ・しろくま】

就学前のお子様を対象に年齢別に集団療育を行っています。

今年度からグループの名前が花の名前になり、ちゅうりっぷ、たんぼぼ、ひまわりの3グループがあります。

同伴通園という子ども達にとって安心した環境の中で、色々な遊びにチャレンジし、一緒に楽しみ、その中で「自分でできたよ」「もっとしたい」など子ども達がたくさん気持ちを感じている毎日です。週1回の合同保育では同じグループ以外のお友達とも一緒に活動をしています。今年度はお父さんやおじいちゃんおばあちゃんにもたくさん療育に足を運んでもらいながら、一緒に子ども達の好きなことを見つけていき、笑い声がたくさんの1年にしていききたいと思っております。(児童指導員 立山)



【放課後等デイサービスこぐまクラブ】

学齢期のお子様を対象に年齢や目的に合わせた集団療育を行っています。

小学校低学年では、幼児期の療育に引き続き、集団ではありませんが、詳細な個別の評価の上、設定された様々な場面で、子ども達が人的、物理的環境に主体的に関わる中、感覚/運動、認知/コミュニケーションの力を「遊び」を通して引き出していきます。

小学校高学年では、獲得してきた力を元に、学校や家庭では経験できない活動を、具体的に、豊かに経験する場面となり、その中で子ども達はそれぞれ新たな発見をし、感情面でも広がりを見せていきます。

中学生では、クッキングクラブ/スポーツクラブ/作業クラブ等、自分で興味のある活動を選び、集中的に取り組み、さらにその中で仲間と協力、試行錯誤する過程を繰り返し、それを生かす力の基にしていきます。(言語聴覚士 福田)



お別れ遠足

3月16日(金)、「児童発達支援センターゆう」のお友だちと、お別れ遠足を行いました。

悪天候のため園内での遠足に急遽変更になりましたが、午前中は思い出が詰まった園舎で、遠足のための特別な設定がされた部屋での様々なあそびを、お友だちやご家族と一緒に楽しみました。

午後は皆で集まってグループ対抗親子競技を行いました。1年間一緒に頑張ったグループの仲間と力を合わせるダンボール倒しリレーや、応援にも熱が入り、盛り上がりました。

また、昼食時には各グループの部屋に分かれ、床にレジャーシートを敷いたり、皆で円になったりと、「遠足」という特別感が感じられる工夫が見られる、素敵な遠足になりました。

お友だちやご家族、スタッフと一緒に「ゆう」で過ごした思い出が、いつまでも皆の心に残りますように！
(児童指導員 井上)



第9回こぐま学園

発達支援セミナーご案内

今回は、北九州市立総合療育センターより作業療法士の古野優子先生をお招きして、感覚統合の視点から子どもたちの困り感への理解と支援を考えます。

日時：平成30年7月7日(土)
場所：小郡市生涯学習センター七夕ホール
定員：100名
テーマ：「発達障害・気になる子どもたちの支援に向けて」～感覚統合の視点からみる子ども達の理解と支援～

詳細に関しましては後日、ご案内致します。
(発達支援セミナー担当 橋本)

新入職員です！よろしくお願いします！

(①名前②職種③ひとこと)



①荒巻智美 ②相談員
③笑顔をやささず、日々がんばります！！



①杉原明子 ②相談員(Life)
③早く新しい環境に慣れるよう頑張ります。



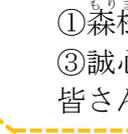
①大島翔子 ②作業療法士
③リハビリで多くの「できた！」を増やしていきます！



①木下薫 ②言語聴覚士
③7年ぶりにこぐま学園に復帰しました！



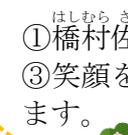
①佐々木詩菜 ②保育士
③今年度から保育士として入りました。よろしくお願いします。



①森松天斗 ②児童指導員
③誠心誠意、こぐま学園に関わる皆さんと向い合います。



①西山穂乃香 ②受付
③よろしくお願いいたします。



①橋村佐智子 ②事務
③笑顔をやささず、一生懸命がんばります。



行事予定

5月

- 16日(水) はぐ・しろくま ふれあい遠足
- 19日(土) 愛らんど 社会体験
- 23日(水) 避難訓練(地震想定)
- 25日(金) ゆう ふれあい遠足

6月

- 14日(木) 避難訓練
- 23日(土) 愛らんど 日帰り旅行
- 27日(水) べあクラブ 社会体験
- 29日(金) ~30日(土) 休園(職員研修のため)

7月

- 7日(土) はぐ・しろくま・ゆう七夕会
- 7日(土) 第9回こぐま学園 発達支援セミナー
- 12日(木) 保護者向け救急救命講習会
- 27日(金) 避難訓練



退職者紹介

- 有馬志保(作業療法士)
- 福嶋博子(就労支援員)
- 西森春奈(作業療法士)
- 藤岡律子(看護師)
- 青柳礼奈(保育士)
- 西山順子(臨床心理士)

今までありがとう
ございました

